

導光板を利用した新たなデザインを提案します。



# ガラス製導光板技術

## ・専用UVインクを採用

弊社で設計するガラス導光板はUVインクを採用しています。  
このインクは大きな課題の密着性・色変化等、  
導光板に要求される性能をクリア。  
品質の安定性や生産効率向上、導光パターンの微細化等、  
様々な要求にお応えします。



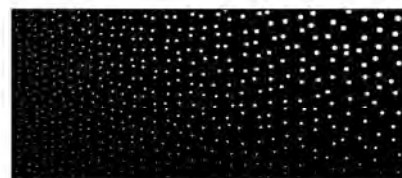
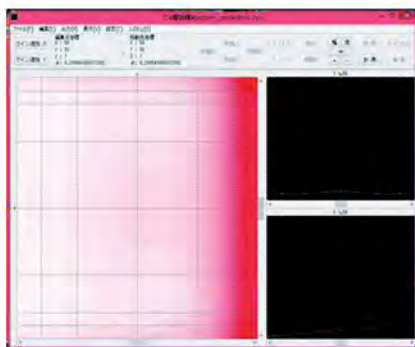
タイプ	ポットライフ	乾燥条件	乾燥時間	ドット径
IRインク	3時間程度	150~180℃	1.5~2時間	200μ程度
UVインク	なし	500mj/ m <sup>2</sup>	2分	最小径60μ可

◎

※それぞれ参考値です。条件により異なりますので、お問合せください。

## ・開発事例

70インチ液晶テレビ バックライト用導光板



弊社独自のドット配列アルゴリズムによるパターン設計ソフトによる光学設計と、長年の経験と実績から創造することで、お客様の満足される製品を開発・設計します。

2017・05

開発・製造

導光板を中心とした樹脂板への印刷・加工の分野において、加工技術の高精度化・高信頼化・微小化・造形の迅速化などの要求に応え、電子部品や各種銘板、グラフィカルなアミューズメントパネル等様々なニーズにお応えします。

 株式会社 エイコー桐生

〒525-0043 滋賀県草津市馬場町1100-9  
TEL 077-564-2449 FAX 077-564-3940